

## 令和7年度事業報告書及び事業報告の附属明細書について

### I 概要

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、地域緑化活動を通じたネットワークの拡大及び緑地保全や県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として各事業について次のとおり取り組んだ。

- 普及啓発事業では、WEBサイトや機関誌「ミドリ」による情報発信のほか、県内各地での自然観察会や歴史見学会等を通じ、積極的にながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発や会員募集に取り組んだ。また、「かながわ緑の大使」による募金活動及び若い世代に向けてSNS等によるPRを図った。
- 地域緑化活動事業では、地域の緑化に取り組む「みどりの実践団体」の募集と育成に務め、市民団体が抱える課題解決のための研修会等も開催した。
- 緑地保全事業では、土地所有者との緑地保存契約の継続や拡大に努め、保存契約緑地等の樹林管理や自然再生を行う活動団体を支援した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森の造成、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。
- 緑の募金事業では、緑の募金活動を行うとともに、直接事業として緑化運動・育樹運動コンクールや企業の森林づくり体験活動事業を実施、支援事業として学校や団体の行う緑化活動や緑の少年団の活動への支援を行った。また、いきいき緑基金を活用し、県内で活動するボランティア団体等に対し、竹林等の整備として竹粉碎機の貸し出しを行った。

### II 事業の実施状況

#### 1 普及啓発事業

##### (1) 広報普及活動

自然環境や歴史的環境を守り育てる運動を県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金、運動への参加を促進するために各種イベントでのPR、ホームページや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

##### ア イベントでの普及啓発活動

###### (ア) 財団設立40周年記念講演会

###### a 『藤塚松星氏に学ぶ伝統工芸 竹の世界』

開催日 令和7年5月13日（火）

場 所 三溪園鶴翔閣

講 師 重要無形文化財（竹工芸）保持者 藤塚 松星 氏

参加者 43人

概 要 講演、実演及び作品鑑賞等

###### b 『古都鎌倉三大幕府と鶴岡八幡宮の成り立ちを紐解く』

開催日 令和8年2月21日（土）

場 所 鶴岡八幡宮直会殿

講 師 神奈川県文化財協会顧問 八幡 義信 氏

(一社)鎌倉・中世文化研究センター所長 馬淵 和雄 氏

参加者 164人

###### (イ) かながわのナショナル・トラスト運動パネル展

| 開 催 日                                           | 場 所      | 主 な 内 容                                   |
|-------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------|
| 令和7年5月3日(土)                                     | 県庁本庁舎    | 県主催「神奈川県庁本庁舎公開」に出展<br>緑地保全事業のPR、ワークショップなど |
| 令和7年7月16日(水)～<br>27日(日)、11月22日(土)<br>～11月30日(日) | 藤沢市長久保公園 | パネル展、会員募集など                               |
| 令和7年7月31日(木)～<br>8月4日(月)                        | 京急百貨店    | パネル展、小網代の森動植物写真及び竹<br>玉飾り作りワークショップなど      |

## イ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを3回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解増進を図った。

| 号   | 発 行     | 発行部数   | 主 な 内 容                                                       |
|-----|---------|--------|---------------------------------------------------------------|
| 137 | 令和7年7月  | 9,000部 | 丹沢・箱根山地における地震災害復旧の<br>歴史、小網代の谷と蜚、流域思考の小網<br>代保全20年など          |
| 138 | 令和7年11月 | 9,500部 | 新たな緑地大和市深見歴史の森、ケヤキ<br>・ムクノキ・エノキ、令和6年度事業報<br>告など               |
| 139 | 令和8年3月  | 9,500部 | いよいよ開催1年前 GREEN×EXPO 2027<br>、竹の知られざる生態、トラスト緑地ア<br>ンケート(付録)など |

※ 40周年の節目に、137号と138号では、改めて県内のトラスト運動と財団の歩みを振り返り、次の時代を見据える「かながわのナショナル・トラスト運動の歴史と将来展望」をテーマに連載した。(令和6年度は、136号の1回、令和7年度は、137号、138号の2回)

## ウ 小網代の森インフォメーションスペースの出展等

期 間 令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火)

場 所 三浦市民交流センター内小網代の森インフォメーションスペース

内 容 普及啓発パネル、小網代の森の動植物の写真展示及び学習図書の提供

## エ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

トラスト運動リーフレットや啓発用物品を作成し、市民団体や企業等に配布した。

- (ア) 入会申込書付きリーフレット 25,000部
- (イ) 小網代の森リーフレット 8,000部
- (ウ) イベント&森林ボランティア情報誌 4,000部
- (エ) 折込チラシ(朝日新聞、日本経済新聞、神奈川新聞、よこはまビジネスPR便) 517,450部

## オ WEBサイト等の充実

- ・ホームページアクセス件数16,714件/月(目標15,200件/月)

情報発信及び整備

公式WEBサイトやSNS(facebook、X(旧Twitter)等)で会員募集や寄附の情報発信及びWEBサイトの整備に取り組んだ。

## カ 自然観察会等の開催

- (ア) 歴史見学(公益財団法人鎌倉風致保存会との共催)

開催日 令和7年5月21日（水）ほか1回  
場 所 鎌倉市安国論寺ほか  
参加者 16人  
内 容 歴史解説、建造物の見学

（イ）自然観察会等

開催日 令和7年4月30日（水）ほか11回  
場 所 鎌倉市建長寺ほか  
参加者 282人  
内 容 街路樹、植物、野鳥などの観察

キ トラスト緑地における自然体験

（ア）トラスト緑地クルーズ2025ほか

開催日 令和7年6月13日（金）午前・午後各1回  
場 所 三浦市小網代湾ほか  
参加者 31人  
内 容 三浦半島の地質、植生などを観察しながらのクルージング

（イ）竹林整備等

開催日 令和7年4月12日（土）ほか1回  
場 所 大和市久田緑地  
参加者 35人  
内 容 竹林講座とタケノコ堀り

ク 関係団体と自然観察会等の共催及び普及啓発に係る事業の委託等

（ア）関係団体との共催等

- a 共催 公益財団法人鎌倉風致保存会
- b 後援 藤沢市みどりいっぱい市民の会、日本風景写真協会神奈川支部、三浦市、公益財団法人神奈川県公園協会、さがみ自然フォーラム

（イ）委託事業の実施

NPO法人小網代野外活動調整会議とNPO法人かながわ森林インストラクターの会に当財団の普及啓発及び会員募集を委託した。

（ウ）財団PRの講演活動

小網代の森ホテル夜間開放における普及啓発及び巡回バス運行  
開催日 令和7年6月4日（水）（中止1回）  
場 所 三浦市小網代の森  
入園者 1,068人

ケ かながわ緑の大使の活動

高校生や大学生など若い世代から「かながわ緑の大使」として3人を任命し、財団主催事業や県内の関連イベントにおいて普及啓発や募金活動等を行った。

活動回数 15回

コ 顧客管理システムの管理

会員等の情報管理の効率化やセキュリティの向上に努め、顧客管理システムの基盤整備を強化した。

サ かながわトラストみどり財団サポーター制度の活用

財団の事業運営を支援するサポーターを追加登録（7人）した。  
登録人数 82人 活用回数 11回（自然観察会ほか）

シ 会員募集推進員

財団の会員募集を担う推進員の募集を行った。

登録人数 10人

## ス 会員数

- ・新規会員425人（目標400人）、トラスト緑地保全支援会員128人（目標100人）

| 会員種別                                       |      | 令和5年度               | 令和6年度               | 令和7年度               |
|--------------------------------------------|------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 普通会員                                       | 個人会員 | 3,339人<br>〔462人〕    | 3,268人<br>〔474人〕    | 3,174人<br>〔496人〕    |
|                                            | 家族会員 | 5,470人<br>〔689人〕    | 5,332人<br>〔690人〕    | 5,072人<br>〔690人〕    |
|                                            | 団体会員 | 354人<br>〔47人〕       | 353人<br>〔53人〕       | 357人<br>〔53人〕       |
| 特別会員                                       |      | 305人                | 305人                | 302人                |
| 名誉会員                                       |      | 5人                  | 5人                  | 5人                  |
| 会員数                                        |      | 9,473人<br>〔1,198人〕  | 9,263人<br>〔1,217人〕  | 8,910人<br>〔1,239人〕  |
| (内、過去1年間に会費の<br>納入があった会員数)<br>(%は特別、名誉を除く) |      | (7,983人)<br>(87.1%) | (7,514人)<br>(83.9%) | (7,540人)<br>(87.6%) |

※〔 〕は内、トラスト緑地保全支援会員数

※会員規則第8条第1項第2号により「会費を引き続き2年以上納入しないとき。」は会員資格の喪失が規定されています。

## (2) 緑化協力金制度の運営

25箇所の協力駐車場のうち当財団では片瀬海岸地下駐車場やかながわ労働プラザなど5箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。

## 2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を募集するとともに、みどりの実践団体が行う緑化活動の支援を行った。また、高齢化等により実践団体の活動参加者が減少傾向である課題に対して、地域緑化の取り組みをテーマに研修を開催した。

## (1) みどりの実践団体の育成

## ア 参加団体数

財団事業に参加した団体数222団体（目標220団体）

## イ 支援制度

地域におけるみどりの愛護と創造を実践する団体に対し、地域緑化活動助成金を交付した。

地域緑化活動事業助成金 33団体

## ウ 実践団体の募集

地域のみどりや身近な自然を守るために活動している自治会や市民団体等のみどりの実践団体への登録についてホームページ、新聞折り込み広告及びポスター等により周知し、助成制度や資料請求等の問い合わせに対応し登録促進に努めた。

## エ みどりの実践団体研修会

日 時 令和8年2月8日（日） 13：30～16：00

場 所 神奈川県不動産会館

参加者 63人 みどりの実践団体15団体（30人）、その他（33人）

講 演 ～地域の緑や植物の力を健康に活かす～「緑と人の健康」

講 師 千葉大学大学院 園芸学研究院 教授 岩崎 寛 氏

## オ 団体交流の促進

みどりの実践団体の事業推進に資するよう各団体の活動状況、課題、他団体への呼びかけや連絡先等を紙面にまとめ、実践団体に送付し団体間の交流に努めた。

## (2) 地域活動の支援

「かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポット」の新書判冊子を作成、配布し、貴重な自然環境、歴史的環境の周知に努めた。

## 3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結して、緑地の適正な維持管理に努めるとともに、緑地で活動する市民団体への支援、蟹田沢緑地の保全及び保全緑地等選定委員会を開催した。

## (1) 緑地保存契約

5箇所緑地について緑地所有者と保存契約を継続し、権現山緑地(大磯町)を加え、新たに2,958㎡(目標500㎡)の保存契約を締結した。

| 緑地名              | 緑地総面積<br>(㎡) | 保存契約<br>対象面積<br>(A) (㎡) | 保存契約<br>面積<br>(B) (㎡) | 契約率<br>(B/A)<br>(%) | 契約<br>期間<br>(年) | 年間賃借料<br>(円) |
|------------------|--------------|-------------------------|-----------------------|---------------------|-----------------|--------------|
| 葛葉緑地<br>(秦野市)    | 153,459.20   | 66,965.84               | 57,697.84             | 86.2                | 10              | 3,008,136    |
| 久田緑地<br>(大和市)    | 98,792.00    | 78,116.00               | 75,184.00             | 96.3                | 10              | 5,413,248    |
| 泉の森緑地<br>(大和市)   | 78,898.31    | 33,483.46               | 22,108.38             | 66.0                | 10              | 2,744,302    |
| 大崎緑地<br>(逗子市)    | 70,936.70    | 27,128.95               | 10,329.95             | 38.1                | 10              | 247,918      |
| 小網代の森<br>緑地(三浦市) | 574,500.00   | 104,007.00              | 104,007.00            | 100                 | 10              | 33,531       |
| 権現山緑地<br>(大磯町)   | 210,000.00   | 50,000.00               | 2,958.00              | 5.9                 | 10              | -            |
| 6緑地 計            | 1,186,586.21 | 359,701.25              | 272,185.17            | 75.6                | —               | 11,447,135   |

## (2) 保存契約緑地等の維持管理

保存契約緑地の巡視及び葛葉緑地(秦野市)、久田緑地(大和市)の草刈り、剪定や伐採等の適正な管理に努めた。また、廃棄処分される樹木を薪等の木質資源(10㎥)の利用に役立てた(寄附件数3件)。

## (3) 緑地保全コーディネート

## ア 保全緑地等選定委員会

開催日 令和8年3月18日(水)

主な議案 保存契約候補地について

## イ トラスト緑地の保全支援

トラスト緑地において、自主的に保全活動にあたる4団体に対してトラスト緑地保全支援事業として活動費を助成した。

小網代の森緑地(NPO法人小網代野外活動調整会議)、久田緑地(久田緑地くらぶ)、桜ヶ丘緑地(桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト)、葛葉緑地(くずはの家ボランティアの会)

- ウ 緑地保全の活動体験  
回 数 3回  
活動内容 竹林整備等  
参加者 21人

エ 蟹田（ガンダ）沢の保全

京浜急行電鉄㈱が所有する蟹田沢緑地（小網代の森隣接地）の保全に協力するため、ビオトープの整備、生態系の保全業務を受託した。

#### 4 県民参加の森林づくり事業

##### （１）ボランティア活動の推進

県民参加による豊かな森林づくりを推進するため、多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供やボランティア団体の活動発表会の実施、小・中・高校生への森林体験学習等の支援、企業・団体等が行う森林づくり活動等への指導者の派遣、用具の貸し出しを行った。

- ・ボランティア参加者数 6,220人（目標10,500人）

ア 県民参加の森林づくりボランティア活動

- 回 数 17回  
活動内容 除伐、枝打、竹林整備、間伐  
参加者 842人

イ 団体の活動発表会

- 回 数 2回  
場 所 はだのクリーンセンターほか1箇所  
参加者 78人（内 38人はアに重複する）

ウ 小・中・高校生の森林学習等支援

- 学校数 11校  
活動内容 森林学習、自然観察、森林作業体験  
参加者 1,034人

エ 団体等への指導者の派遣

- 回 数 79回  
活動内容 自然観察、間伐、植樹、枝打、林内整備等  
参加者 2,705人

オ 団体等への用具の貸出し

- 回 数 106回（73団体）  
活動内容 森林作業体験等  
参加者 4,815人（内 3,216人は、ウとエに重複する）

##### （２）神奈川県森林インストラクター活動

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動の円滑な推進を図るため、神奈川県森林インストラクターの育成を行い森林インストラクター派遣の調整を委託した。

ア 神奈川県森林インストラクターの派遣調整事務の委託

財団、学校及び各種団体等が行う森林づくり活動や自然観察の指導等に係る神奈川県森林インストラクターの人選、調整、派遣等をNPO法人かながわ森林インストラクターの会に委託した。

- 回 数 109回  
派遣人数 663人

イ 森林インストラクターブラッシュアップ研修

神奈川県森林インストラクターを対象に指導者としての資質向上を図るため、間伐技術の指導法や話し方講座等を実施した。

回 数 3回

参加者 84人

ウ 神奈川県森林インストラクターの養成

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化等に対応した指導者を養成するため、第19期神奈川県森林インストラクター養成講座（一年次）を開講した。

講座日数 12日

期 間 令和7年8月～令和8年3月

受講者 30人

(3) 森林づくり普及啓発

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため、普及啓発活動を行った。

ア 森林づくり日程表等の作成

森林づくりへの参加を促進するため森林づくり活動日程表等を作成し、配布した。

日程表の作成数 20,000部 配布先 既参加者、行政機関、企業等

イ やどりき水源林の案内

県民に水源の森林づくりへの理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や森林の案内を行った。

配置場所 やどりき水源林（松田町寄）

配置等人員 延べ170人（34日）

ウ 成長の森の造成

かながわの森林づくりへの理解増進の一助とするため、子どもの成長過程において記念を迎えた方から神奈川県産無花粉スギ・ヒノキの苗木の寄付を受け、県と財団が連携して県立21世紀の森で森林づくりを行った。

苗木寄付 123家族 170人

エ 街頭キャンペーン

県民との協働を一層高め、水源環境保全再生への取り組みを促進するため、森林に親しむ機会の少ない都市部の県民に向け、水を育む森林の大切さ等について普及啓発活動を行った。

開催日 令和7年11月1日（土）～3日（月）ほか1回

場 所 川崎市川崎区富士見公園ほか

活動内容 紙芝居、クイズなど

参加者 912人

オ 水源林のつどい等の開催

「県民との協働による森林づくり実行委員会」事務局として水源林のつどい等を開催した。

開催日 令和7年8月23日（土）

場 所 やどりき水源林（松田町寄）

内 容 水源林トレッキング、水生生物観察、森林癒し、森林交流会等

参加者 364人

## 5 緑の募金事業

### (1) 緑の募金活動

## ア 会議の開催

## (ア) 第28回緑の募金運営協議会

開催日 令和7年5月30日(金)

場 所 波止場会館

主な議案 令和6年度事業報告及び収支決算

## (イ) 第29回緑の募金運営協議会

開催日 令和8年2月24日(火)

場 所 横浜西合同庁舎

主な議案 令和8年度緑の募金実施要領及び令和8年度事業計画、収支予算

## イ 募金活動

学校、職場、企業、団体等において、緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を得た。

・募金額25,535,290円(目標20,500,000円)

| 緑の募金種類  | 令和5年度       | 令和6年度       | 令和7年度       |
|---------|-------------|-------------|-------------|
| 緑の羽根募金  | 13,994,432円 | 17,129,949円 | 18,413,090円 |
| 緑化グッズ募金 | 6,993,200円  | 6,799,200円  | 7,122,200円  |
| 計       | 20,987,632円 | 23,929,149円 | 25,535,290円 |

## (2) 地域緑化の推進

## ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な学校緑化に対し支援した。(延べ57校)

## イ 指定校緑化事業

神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む学校を指定し、学校緑化を実施した。(12校)

## ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植 栽 伊勢原市総合運動公園ほか20箇所 苗木 39本、花苗 1,224本

(イ) 苗木配布 三浦市民交流センターほか3箇所 465本

(ウ) 樹木診断等 横須賀市鴨居老人福祉センターほか3箇所

## エ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による秦野市菩提峠周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」に支援した。

## オ 森林保全活動

森林づくり体験の参加者を募り、森林保全活動を行った。

実施日 令和7年4月16日(水)ほか1回

場 所 茅ヶ崎市芹沢ほか1箇所

内 容 除伐

参加者 83人

## カ ジュニアフォレスター教室

次世代を担う子どもたちを対象に森林や川の体験、自然観察、キャンプや林業体験などを実施し、森林づくりの関心を高めた。

開催日 令和7年7月26日（土）～27日（日）ほか2回

場 所 南足柄市広町ほか2箇所

参加者 171人

キ 企業の森づくり体験活動

企業からの募金協力により、企業が行う森林づくり活動に対し、行政や関係団体と連携を図り、企画立案や事業運営を行った。

開催日 令和7年4月22日（火）ほか5回

場 所 水沢特別緑地保全地区

参加者 延べ502人

ク かながわ緑の大使事業[再掲]

ケ イベント開催助成事業

市町村・団体等が開催または参画する環境保全や森林整備等の普及啓発を目的としたイベントへの経費助成を実施した。

団体数 2団体

（3）緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団（5団）の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日 令和7年9月21日（日）

場 所 相模原市立相模川自然の村

内 容 野外体験教室

参加者 36人

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日 令和7年5月12日（月）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

内 容 令和6年度活動報告等

参加者 12人

（4）緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 表彰日 令和7年12月13日（土）

イ 会 場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 入賞者等（上位入賞作品は（公社）国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品）

（ア）ポスター原画コンクール（応募点数 355点、入賞点数 45点）

|                       |      | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 合計  |
|-----------------------|------|-----|-----|------|-----|
| 応募点数                  |      | 162 | 141 | 52   | 355 |
| 賞<br>の<br>選<br>定<br>数 | 最優秀賞 | 1   | 1   | 1    | 3   |
|                       | 金 賞  | 2   | 1   | 1    | 4   |
|                       | 銀 賞  | 3   | 2   | 1    | 6   |
|                       | 銅 賞  | 5   | 4   | 1    | 10  |
|                       | 佳 作  | 10  | 6   | 6    | 22  |
|                       | 合 計  | 21  | 14  | 10   | 45  |

（イ）標語コンクール（応募点数 379点、入賞点数 37点）

|       |      | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 一般 | 合計  |
|-------|------|-----|-----|------|----|-----|
| 応募点数  |      | 166 | 192 | 0    | 21 | 379 |
|       |      | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 一般 | 合計  |
| 賞の選定数 | 最優秀賞 | 1   | 1   | 0    | 0  | 2   |
|       | 金 賞  | 2   | 3   | 0    | 0  | 5   |
|       | 銀 賞  | 3   | 4   | 0    | 0  | 7   |
|       | 銅 賞  | 4   | 5   | 0    | 1  | 10  |
|       | 佳 作  | 6   | 6   | 0    | 1  | 13  |
|       | 合 計  | 16  | 19  | 0    | 2  | 37  |

エ 令和8年用国土緑化運動・育樹運動コンクール（主催（公社）国土緑化推進機構）

（ア）ポスター原画コンクール 入選 3人

（イ）標語コンクール 入選 1人

オ 令和6年度、7年度コンクール作品の巡回展示

（ア）令和6年度作品

期 間 令和7年4月8日（火）～8月31日（日）

場 所 県立相模原公園ほか3箇所

（イ）令和7年度作品

期 間 令和7年12月13日（土）～令和8年3月26日（木）

場 所 神奈川県庁ほか2箇所

（5）いきいきみどり基金による支援

竹林整備等支援事業

森林整備等の活動に取り組むNPO法人等に竹粉碎機の利用登録や貸出しを行った。

登録団体 26団体

貸出回数 7回

（6）協力等事業

ア （公社）国土緑化推進機構関係

（公社）国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。

（ア）企業の森づくり体験活動事業

企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、土地所有者等と協定を締結し具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。

（イ）公募事業（緑の募金、緑と水のファンド）

国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業を周知した。

（ウ）学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校を支援した。

申請3校、採択3校（茅ヶ崎市立鶴峰小学校ほか2校）

（エ）学校林を活用した森林環境教育促進事業

学校林を活用した青少年環境教育の促進を目的に学校林での森林環境教育活動を行う非営利団体を支援した。

申請 1校、採択 1校（二宮町立一色小学校）

イ （公社）ゴルフ緑化促進会関係

協力ゴルフ場所在地を中心とした公共施設へ緑化の推進等を支援する。

応募 1 団体、採択 1 団体（茅ヶ崎市）

### Ⅲ 理事会、評議員会等の開催

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。

#### 1 理事会

##### （１）第27回定時理事会

開催日 令和7年6月5日（木）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 令和6年度事業報告及び収支決算等

##### （２）第28回定時理事会

開催日 令和8年3月10日（火）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 令和8年度事業計画及び収支予算等

#### 2 評議員会

第14回定時評議員会

開催日 令和7年6月24日（火）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 評議員、理事、監事の選任並びに令和6年度収支決算等

#### 3 緑の募金運営協議会

##### （１）第28回緑の募金運営協議会〔再掲〕

##### （２）第29回緑の募金運営協議会〔再掲〕

#### 4 戦略会議

##### （１）第1回戦略会議

開催日 令和7年7月23日（水）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 戦略会議で議論したいテーマ等

##### （２）第2回戦略会議

開催日 令和7年11月20日（木）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 今後の財団におけるナショナル・トラスト運動の展開等

講 和 埋蔵文化財に学ぶ歴史環境

講 師 一般社団法人鎌倉・中世文化研究センター 馬淵 和雄氏

##### （３）第3回戦略会議

開催日 令和8年2月26日（木）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 令和8年度以降の会議テーマ、方向性について

法人運営体制の充実を図るための取組（法人が自主的に行ったガバナンス体制の充実を図るための取組）

- 1 財団の組織、運営及び事業等を幅広い視点から検討する戦略会議を設置した。
- 2 財団職員の資質向上を図るため、研修会を行った。
- 3 公益法人新会計基準の改正により、本財団は令和9年度の導入を予定しているため、職員が積極的に研修セミナーに参加した。

## 事業報告の附属明細書について

公益財団法人かながわトラストみどり財団定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。

令和8年6月

公益財団法人かながわトラストみどり財団